JAはだの

発行所
秦野市
農業協同組合
（神奈川県）

〒257-0015
秦野市平沢477
電話 0463(81)7711㈹
編集兼発行者 宮永 均

寒さぎゅっと 野菜おいしく

シャッターチャンス

厳しい寒さが続くこの時期、露地野菜は甘さが増し、うま味が凝縮する。じばさんずや特産センター秦野・渋沢の両店などには、ダイコンやハクサイ、ブロッコリーなどがずらりと並び、多くの来店者から人気を呼んでいる。

堀西で1・7㌶の圃場（ほじょう）を活用して露地野菜を栽培する三武利夫さんも出荷者の一人。三武さんは「寒さが厳しく、農作業は毎日大変だが、負けずに品質の高い野菜を消費者に届けていきたい」と笑顔で話している。

寒さに負けずブロッコリーの収穫に励む三武さん

組合員訪問日 毎月26、27日

4月から2日間に変更

2017年4月から組合員訪問日は毎月26日・27日の2日間に分けて実施することになりました。従来の26日から、27日に変更になる地区の皆さまには2月、3月の組合員訪問日で変更をお知らせいたします。

また26日・27日の貯金などの集金業務も、地域によって集金日を変更させていただきますので、何とぞご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

お問い合わせなどは各支所・支店まで。

「えごま油」3月販売

JAはだのは、3月1日からじばさんずで秦野産エゴマで作った「はだの生搾りえごま油」の販売を始める。1本110㌘入りで、価格は2000円（税込み）。

成分にα—リノレン酸を豊富に含むため、血流改善やコレステロール値の低下、アレルギー抑制などの効果が期待できる。

パスタやマリネなどにあえたり、ドレッシングとしてサラダにかけたりと、幅広い料理に合わせやすく、気軽に摂取できる。

原料に使用したエゴマは、JAが第二次地域農業振興計画の一環として農家に栽培を促してきたもの。加工して高付加価値化を図ることで、農家の所得向上につなげる狙い。

営農課のTACも販売を後押ししようと、JAオリジナルキャラクター「やえのちゃん」と「ぴーなマン」をデザインしたPOP（店内広告）を作成。調理方法や効能などを分かりやすく記載することで、来店者の購買意欲を促進させる。

はだの生搾り
えごま油
JAはだの

秦野産エゴマ100％の「はだの生搾りえごま油」

組織運営充実へ

生産組合役員らが研修会

JAはだのは1月30日、本所で生産組合役員・支所運営委員合同研修会を開いた。各地区の生産組合長や内部役員、JAが今年度から各支所に設置した支所運営委員会の委員の他、関係者ら約230人が参加。支店を拠点に協同組合運動に力を入れているJA福岡市から講師を招き、先進事例を学ぶことで組織運営の充実を一層促進させる狙い。

研修会はこれまで生産組合の役員を対象にしていたが、新たに支所運営委員会の委員も参加。さらなる地域活性化に向け、同委員会の活動の一助にもする考えだ。

JA福岡市金融部の宗欣孝部長が「JA福岡市の経営戦略」と題して講演した。

宗部長は、各支店が行動計画を策定し、食や農に関するイベントを組合員と一体で開いていることなどを説明。地域の公民館で開くみそ造り教室など、具体例を示しながらJA福岡市の取り組みを解説した。

山口政雄組合長は「組合員と役職員が一体となり、これまで以上に地域との絆を深めていきたい」と意気込みを語った。

ＪＡ福岡市の取り組みを説明する宗部長

今月の特集

4～5面

協同組合講座で学習・仲間づくり

JAはだのは、組合員教育事業として毎年「協同組合講座」を開講。さまざまな知識を習得しながら、仲間づくりのきっかけとなっている。

メール情報配信サービス

QRコードで登録を

JAはだのは、携帯電話やパソコンなどのメールを利用した情報配信サービスを行っています。月2回のメールマガジンと、営農・じばさんず・セレモニーホールなどのさまざまな情報を発信しています。上記のQRコードを読み取り、簡単な手続きを進めるだけで登録できます。

お問い合わせは組織教育課まで。☎81—7714

文中の表彰などの人名紹介の際の敬称は省略させていただきます。

来店700万人を突破

花束と野菜 記念に贈る

じばさんず 14年で大台

じばさんずは3日、来店者700万人を達成した。2002年のオープンから、14年4カ月で大台を突破した。

4台のレジを同時に通過した来店者4人全員を700万人目として祝い、山口政雄組合長らが地場産の花束と野菜の詰め合わせを贈った。JAオリジナルキャラクター「やえのちゃん」と「ぴーなマン」も祝福に駆け付けた。

700万人目となった厚木市の中村錦子さんは「いろいろな種類の農産物があるので、毎月来ている。素敵なプレゼントをもらえて、とてもうれしかった。これからも通いたい」と笑顔で話した。

同店は617平方㍍という県内最大級の売り場面積を誇り、年間約55万人が来店する。常時300～400品目が店頭にずらりと並び、農家と消費者をつなぐ懸け橋になっている。

祝 はだのじばさんず
ご来店700万人達成!!
2017年2月3日
15th Anniversary
JAはだの
やえのちゃん

700万人目の来店者

カップル6組誕生

婚活パーティーで交流深め

JAはだのは4日、結婚相談事業の一環として、本所で「アーリーバレンタイン婚活パーティー」を開いた。今回は男性14人、女性8人が参加。JAが委嘱した結婚相談員のアドバイスを受けながら交流を深めた。

相談員の三竹芳枝代表は「主役は皆さん。今日が良い記念日になるよう頑張ってほしい」と呼び掛けた。参加者は、順番に席を移動しながら全員と話し、自分を積極的にアピールした他、会場を移して自由に会話を楽しんだ。最後に、もう一度会いたい相手の名前を「再会カード」に記入して提出。今回は6組のカップルが誕生した。

同事業は、1981年にスタート。毎年開く交流会や毎月10日の結婚相談日などを通して無償で登録者を紹介し、これまでに107組が成婚している。

「はるみ」などを栽培してきた体験談を語る北村さん

地域農振大会に142人

米「はるみ」の栽培促す

計画実現へ 宣言採択も

JAはだのは6日、本所で第7回地域農業振興大会を開いた。同大会は毎回、JAや農家が生産拡大に力を入れている農産物や取り組みなどを参加者に紹介する。今年は、主食でもある米をテーマに、県の奨励品種である「はるみ」について講習。生産組合長や直売所出荷者ら142人が参加した。

「はるみ」は、市内で現在盛んに栽培されている「キヌヒカリ」より、穂発芽しにくいなどのメリットがある。

鶴巻の北村良久さんが、これまで「キヌヒカリ」や「はるみ」を栽培してきた経験を踏まえて、品種ごとの特徴などを説明。県農業技術センターの職員らは、栽培管理や病害虫の防除方法などを解説した。

JAは「はるみ」で作ったおにぎりを配布。試食後のアンケート結果では、香りや味など、5項目全てで高評価を得た。

その後、営農課のTACが、JA全農かながわ中央ベジフルセンターと連携した販路拡大への取り組みなどを紹介した。

最後に、JAが力を入れる第二次地域農業振興計画の実現に向けた大会宣言を採択した。

接近！おじゃまします ㉝⑦

337

地域とのつながり大切に

鶴巻の 澤村（さわむら） 一雄（かずお）さん（60）

「農業一筋40年。お客さんの喜ぶ顔が励みになっている」と話す鶴巻の澤村一雄さん。現在のかながわ農業アカデミーを卒業後に就農し、父と共に農作業に励む毎日を過ごしてきた。

当時は、ほとんどの農産物を市場に出荷していたが「地元の人にも食べてもらいたい」との思いから、35歳の時に直売所を自宅近くに設置。地域の人々に新鮮で安全・安心な農産物を長年届けている。

澤村さんは、100㌃の水田で米を生産する他、35㌃の圃場（ほじょう）ではホウレンソウやサトイモ、ネギなどの露地野菜を、施設ではトマトを栽培。

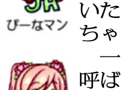
現在、収穫した農産物は自身の直売所で販売している他、毎週水曜日に鶴巻支店駐車場で仲間と開く「鶴巻ふれあいマルシェ」や毎週土曜に鶴巻温泉駅前で行う朝市などにも並べている。

「地域とのつながりを大切にしたい」と話す澤村さんは、同マルシェの副会長の他、地元農家で構成する鶴巻営農組合の代表としても活躍。同地区の水田で発生しているスクミリンゴガイ（通称・ジャンボタニシ）の駆除には、農家の仲間らと連携して励み、地域に貢献している。

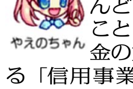
澤村さんは「農家の先輩には、野菜の作り方など、いろいろなことを教えてもらい、とても感謝している。農業が好きなので、これからも体が続く限り頑張りたい」と意気込みを語った。

やえのちゃんぴーなマンの「JAってなに？？」

幅広く対応 総合JA



JAには、総合JAと専門JAの二つがあるって聞いたけど、やえのちゃん知ってる？



一般にJAって呼ばれているほとんどが総合JAのことよ。貯金や資金の貸し付けをする「信用事業」、野菜や米など農畜産物を扱う「販売事業」、肥料や農薬、生活用品などを扱う「購買事業」、保険業務を行う「共済事業」などを兼営しているのよ。

専門JAは、酪農や果樹、園芸など同じ品目を経営する生産者が集まって作ったJA組織のことよ。ヨーロッパの農協は専門農協が主流で、日本は総合JAが中心なの。

この理由は、農家の経営が欧米と比べて小規模・多品目生産で、兼業所得と一体になった経営が行われているからなの。だから農家が生産する全ての品目や貯金、共済にも対応できる総合的な体制が求められているのよ。

利用者の役に立てるよう、何にでも対応できる総合的な体制が求められているんだね。ありがとう、やえのちゃん！

27人が新たな一歩

市民農業塾が閉講式

はだの都市農業支援センターが取り組む「農」の担い手育成事業「はだの市民農業塾」が4日、今年度の閉講式を迎えた。受講生27人が修了し、農業者への第一歩を歩み始めた。

同塾は、目的別に①新たに農業参入を目指す「新規就農コース」②農業の基本を学ぶ「基礎セミナーコース」③農産加工品の製造・販売を学ぶ「農産加工起業セミナーコース」の3コース。

平成28年度はだの
主催：秦野市・JAはだ

山口組合長から修了認定証を受け取る北村さん

本所で開いた閉講式では、副塾長を務めるJAはだのの山口政雄組合長が「学んだことを生かし、立派な農業人として活躍してほしい」とエールを送り、代表者に修了認定証を手渡した。その他、市農業委員会などが励ましの言葉を贈った。

修了生の北村朋大さんは「農業を実践的に学ぶことができ、とても勉強になった。初心を忘れずに、これからも頑張っていきたい」と意気込みを語った。

防護ネット設置

北地区の生産組合

北地区の生産組合は12日、戸川と横野に獣の侵入を防ぐ防護ネットを設置した。2地区の8生産組合の組合員や、はだの都市農業支援センターとJAはだの北支所の職員50人が作業に励んだ。

組合員は、分担しながら5㍍間隔で支柱を打ち、高さ2㍍のネットを張った。ネット下からの侵入を防ぐため、約1・5㍍おきに杭を打ち込み、抜けないことを確かめながらネット下部と地面を固定。全長1・6㌔以上にわたりネットを張り巡らせた。

協力しながらネットを張る組合員

横野上生産組合の山口孝嘉生産組合長は「広範囲の作業は個人では難しい。仲間と協力して鳥獣被害軽減に努めていく」と話した。

男性対象に料理教室

そば打ちなど体験

JAはだのは12日、本所調理実習室で男性を対象とした「男の料理教室」を開いた。料理を通じ、男性にも食や農への関心を深めてもらうことが目的。15人が参加した。

県が認定する「ふるさとの生活技術指導士」の久保寺則子さんが講師になり、そば打ちと地場産野菜を使ったかき揚げ作りを指導。そば粉をこねるときの手の使い方や水の分量の他、野菜の切り方などを実践しながら教えた。

久保寺さん㊨から生地の延ばし方を教わる参加者

料理に使用した食材は全て地場産。参加者は、作ったそばとかき揚げを昼食として味わいながら、地産地消の大切さを学んだ。

参加者の一人は「料理はいつも妻任せだったが、今日習ったそばを家庭でも作り、家族に食べさせたい」と笑顔で話した。

互いの生産現場を巡回

若手農家の「秦友会」

秦野市農業後継者クラブ「秦友会」は8日、南、本町地区の会員の農地4カ所を巡回視察した。栽培技術の向上と相互の親睦を図ることが狙い。会員ら11人が参加した。

今泉で酪農を営む原秀徳さんの牧場では、生育している頭数や1日の搾乳量、出荷の流れなどの説明を受けた。その他、牧場内を見学しながら生育方法や牛舎の設備などについて意見を交わした。

村上洋会長は「互いの生産現場を見る機会は少ないので、とても勉強になる。巡回することで、会員のモチベーション向上につながれば」と話した。

原さん㊨から乳牛の生育について説明を受ける会員

協同組合講座

JAはだのは、組合員教育事業の一環として毎年「協同組合講座」を開講し、組合員の学習活動と交流を積極的に進めている。農業やJA、税金、健康などにまつわる幅広い知識を習得しながら、受講者同士の新たな仲間づくりのきっかけとなっている。

学びを通し仲間づくり

この目でこの手でこの耳で

幅広い分野で知識深める 健康意識をしっかりと

協同組合講座は、幅広い学びの場を提供している。

講師の動きに合わせて体操する受講者

組合員講座生活コースでは、健康に対する意識を高めるカリキュラムを導入。伊勢原協同病院の言語聴覚士を講師に「おいしく食べていきいき暮らす～今から始める健口体操～」と題した講座を開いた。

耳鼻咽喉の仕組みや誤嚥（ごえん）が起こる状況について教わり、口周りの筋肉を鍛えることの重要性を学んだ。誤嚥を防ぐために、口を動かし大きな声を出す体操や背筋を伸ばす体操なども習得した。

受講者は「口を動かすことが健康につながるのは知らなかった」「日頃から食事の時の姿勢に気を付けようと思った」などと話した。

輸入現場に足運び 食の安全を再認識

組合員基礎講座では、地産地消の大切さを再認識するため、横浜港の輸入農産物の保管状況を視察した。一般消費者は普段見ることのできない輸入業者が保管する農産物の倉庫内を見学。日本各地の特産加工品の一部は、実は輸入農産物を原料としている実態や、温度管理ができない場所で何年も放置されている現状を目の当たりにした。

受講者は「食の安全への意識が高まった。もっと若い人たちに現状を知ってもらいたいと感じた」と話した。

輸入農産物の保管状況について説明を受ける受講者

地域を引っ張るリーダー育てる

閉講式

1月25日には、本所で今年度の協同組合講座閉講式を開き、134人が修了した。講座の代表者が学習体験を発表した他、国外視察研修の参加者代表も、現地での交流体験などを発表した。

山口組合長から修了証を受け取る小室さん

組合員基礎講座を修了した小室栄一さんは「JAを知る良いきっかけになった。また機会があったら、ぜひ参加したい」と話した。

これまでの修了者は、30年以上で延べ2341人。長年続く講座は、JAと組合員との信頼関係を構築する場としても、大きな役割を担ってきた。現在、修了者の多くが、協同組合運動の担い手となり地域をけん引している。

山口政雄組合長は「修了者には、学んだことを生かし、地域のリーダーとして活躍してほしい。地域に元気を与えるJAづくりに向けて、今後も組合員教育に力を入れていく」と意欲を燃やしている。

アジアの国々との交流に貢献

組合員講座の修了者は、アジアの国々を視察し国際交流を深める「国外視察研修」の対象者となる。組合員の見聞を広げるとともに、JAが目指す「アジアとの共生」を進めることが狙いだ。

昨年は、9月にタイ、10月にベトナムを訪問する視察団を派遣した。現地の農業関係者との交流に加え、互いの農協管内の小学生が書いた書道や図画を交換するなど、文化交流も深めた。

タイでは、ペチャブリ県にある農協を訪問し、互いの組織運営や、管内の農産物などについて意見交換した。同県の小学校も訪れて、子どもらと共に、現地の伝統的な踊りを楽しみながら親睦を深めた。

伝統的な踊りで視察団を歓迎するタイの子どもら

参加者は「団員同士の仲も深まり、普段の観光旅行ではできない素晴らしい体験をすることができた」と話した。

3月27日から募集します

組合員基礎講座／組合員講座／専修講座

「協同組合講座」には①准組合員を対象に、農業やJAの基礎を学ぶ「組合員基礎講座」②農政や生活文化などを幅広く学ぶ「組合員講座」③組合員講座修了者を対象に、2年間でより深く知識を身に付ける「専修講座」――がある。受講者の学習意欲に合わせてステップアップもでき、修了者の半数近くが次の講座を希望するなど好評だ。

来年度の協同組合講座は、3月27日から募集を開始する。各講座に関するお問い合わせは、組織教育課まで。☎81―7714。

発見頑張り屋さん

No.406

地域を盛り上げる活動を

菖蒲の 多田（ただ）信行（のぶゆき）さん（74）

趣味は「古くなった農器を直すこと」と笑顔で話す、菖蒲の多田信行さん。香川県出身で、19歳の時に陸上自衛隊に入隊。約6年務め、糧食班の班員として、仲間と1500人分の食事を調理していた経験を持つ。除隊後は㈱神戸製鋼所に就職し、転勤を機に秦野市へ移り住んだ。その間も予備自衛官として部隊に加わり、訓練を受けていた。退職後は、地域のボランティア活動に精を出し日々活躍している。

――ボランティア活動は？

四十八瀬川自然村や里地里山を守る会、（公社）秦野市シルバー人材センターなどで地域のために活動しています。里山の保全や炭焼き、草刈りなどをする他、ソバ作りやもち米作りもしています。

――JAとの関わりは？

2011年に狩猟免許を取得しました。現在、4基の捕獲檻（おり）を管理しています。年金の受け取りもJAです。毎年開く年金旅行が楽しみです。

――農業は？

近くに畑を借りて、サトイモやサツマイモ、ニンニク、タマネギなどを作っています。家の光協会が出版している『やさい畑』の本を参考に栽培しています。昔の農器は使い勝手が良いので、知人が使わなくなったものをもらい修理して再利用しています。

――今後は？

上地区を盛り上げ、地域のために仲間と楽しく活動していきたいです。自分の持っている技術を伝えたいと思っているので、これからも多くの人たちと関わっていこうと思っています。

利用に感謝しコンサート

会場酔いしれる

甘くのびやかな歌声を披露する杉さんと伍代さん

JAはだのは2日、秦野市文化会館大ホールで2016年度貯金・共済観劇招待会「杉良太郎・伍代夏子2人のコンサート」を開いた。日頃のJA利用に対して感謝を込め、昼と夜の2回公演。合わせて2345人の組合員が来場した。

会場は2人の素晴らしい歌声への拍手喝采に包まれた。軽快なトークで盛り上がり、楽器の生演奏に魅了された。2人合わせて18曲歌い上げた。

コンサート後半では、ステージ上で農家が秦野の農産物を2人に手渡すなど親交を深めた。開演前には、女性部目的別趣味グループが舞踊やオカリナ演奏を披露し、コンサートに花を添えた。

小豆栽培の体験を発表

鶴巻小の児童31人

鶴巻小学校の6年3組の児童31人は10日、同校の家庭科室で「あずきフェスティバル」を開いた。隣接するつるまきこども園の園児ら約50人と、作付けなどを指導したJA営農課のTACを招き、栽培管理の経過を発表した。

6年3組総合
～あずきフェスティバル～

小豆の栽培管理について発表する児童

児童は「和の文化を引き継ぐ」をテーマに、昔から和菓子などに使われる小豆に着目。TACの指導の下、昨年7月から総合的な学習の時間を活用し、小豆を栽培してきた。

発表では、種まきや夏の草むしり、病害虫の駆除、収穫までを写真を交えながらスピーチ。児童は「草むしりが一番大変だった」などと感想を話し、体験を振り返った。

効果的な相続税対策を学ぶ

資産管理セミナー

資産運用部会は11日、本所で資産管理セミナーを開いた。効果的な相続税対策を学ぼうと、部会員56人が参加。税理士法人オフィスオハナ代表税理士の吉野広之進氏が「相続税の基本の基本」と題して講演した。

吉野税理士は、東京国税局が発表している県内の相続税の課税状況や、基礎控除額の改正点などについて解説した。相続税などへの対策として、生命共済に加入することや建物を修繕して相続財産を減らすことなどの具体的な節税方法を伝授した。

参加者の一人は「相続税の基礎を再確認できて良かった。家族のためにも、学んだことを今後の対策に生かしていきたい」と話した。

相続対策を伝授する吉野氏

長寿者に記念品贈呈

いきいきライフ支援事業

おめでとうございます。末永くお元気でお過ごしください。

88歳（米寿）

▽大根地区＝浅田彰（鶴（下大槻）小出勝義（鶴巻）
▽東地区＝井上實（名古木）
▽南地区＝安藤清吉（平沢）吉岡登志江（尾尻）
▽西地区＝吉川登久子（柳町）

77歳（喜寿）

▽大根地区＝荒川輝男（南矢名）杉山誠治（南矢名）今井紀夫（南矢名）小澤喜一（南矢名）
▽東地区＝野間紀之（寺山）
▽南地区＝有賀計壽（尾尻）磯貝辰次郎（今川町）神戸久子（室町）
▽西地区＝小野和男（千村）青木節子（千村）谷邦雄（千村）畑正義（渋沢）土屋文枝（並木町）
▽上地区＝熊澤タマ（柳川）佐藤よしみ（菖蒲）

※自己申告ですので、該当の方は各支所、支店までご連絡ください。

部員の声を生かし 女性部活性化へ

意見は140件 運営に反映

18会場で座談会

女性部は1月27日から2月1日まで、市内18会場で「女性部座談会」を開催した。部の活性化を図るため、意見・要望を出し合い、意向に沿った活動を進めることが目的。全体で247人が出席し、140件の意見が上がった。

内容は①今年度の反省および次年度への意見・要望②女性部の活性化③共同購入―など。部員からは「本部役員の仕事量が多いので軽減できないか」「高齢化による部員の減少が問題」「支部活動で新たな活動をしたい」などの声が寄せられた。

意見・要望は今後の運営に反映させ、さらなる部の発展に役立てていく。

西大竹会館での座談会

熟成が楽しみ みそ詰め終了

大豆プロジェクト

女性部が取り組む「自給率向上！大豆プロジェクト」が、最終工程のみそ造りを迎えた。地産地消を目的に、種まきから収穫までを体験。自ら育てた大豆「津久井在来」を使い、みそを造った。

1工程は3日間。地場産の米で2日かけて米こうじを作る。3日目に、軟らかく煮た大豆と塩、米こうじを合わせて機械でペースト状にし、専用の容器に詰めて仕上げた。みそは、熟成期間を経て12月ごろから味わえる。

小泉裕子部長は「栽培から経験するので、地産地消への意識が高まる。共に作業することで部員間の絆も深まると感じる」と話した。

空気が入らないようにみそを容器に詰めた

いきいき女性部活動

南支部
東町生活班
髙橋　由美子

母からバトンタッチして20年。あのころは大半の家が農業、酪農に関わっており、多くの女性が加入していました。現在も50～70歳代、14人の部員が在籍しています。共同購入はもちろん、女性部運動会や南支部のヘチマ化粧水作りなどに参加する他、時には班員で町に繰り出すなど大いに楽しんでいます。

先日、女性部座談会終了後に恒例の新年会を開き、お弁当や持ち寄った漬物などを食べながら会話に花が咲きました。その中で以前、みんなで、つるしびなを制作した話が上がりました。「また1カ月に1度くらい集まろうよ」と意見が上がり、新しい活動の目的ができました。女性部の輪がずっと続くことが、皆さんの心の財産になっている気がします。これからも、東町の皆さんと仲良く、女性部活動に参加していきたいです。

高齢者の元気応援

デイに福祉用具贈る

女性部は7日、ＪＡデイサービスセンターはだのに福祉用具を贈った。小泉裕子部長と熊澤淳子、桐山容子両副部長が訪問。高齢者福祉活動の一環として、設備拡充に協力した。

同部は、昨年11月の農業まつりで開いたバザーの収益の一部で、浴槽での転倒を防ぐすべり止めマットと和室での立ち上がりを補助する手すりを購入。小泉部長らは、利用者の代表３人と同センターの甲斐さとみ所長に2品を手渡した。

甲斐所長は「和室につかまるものがなかったのでとても助かる。毎年、物品を提供していただき感謝している」と話した。

女性部から施設に福祉用具を贈った

３月の女性部行事予定

８日(水)女性部総会打ち合わせ
　10：00～大会議室
//　女性部本部役員会
　13：30～大会議室
15日(水)女性部支部役員会（東）
　９：30～東支所・会議室
//　女性部支部役員会（北・上）
　13：30～各支所・会議室
16日(木)女性部支部役員会（大根・西）
　９：30～各支所・会議室
//　女性部支部役員会（本町・南）
　13：30～各支所・会議室
24日(金)女性部誌「ひろば」発刊編集委員会
　９：30～団地２階・研修室
29日(水)第49回女性部総会およびＪＡはだの家の光大会
　13：00～虹の間

支部だより

上支部

親子で恵方巻き作り

上支部は1月31日、上小学校で「親子恵方巻き作り」を開いた。部員3人が、5年生の児童11人とその親に巻き方のこつなどを指導した。

児童が地元農家と共に育てた米を使い、具材には子どもの好きなソーセージや玉子焼きなどを入れた。児童は「作るのが楽しい」と笑顔。出来上がった恵方巻きは、今年の恵方の北北西を向いて一斉にほお張った。

熊澤淳子支部長は「手作りの味や地産地消の良さを知ってもらえれば」と話した。

恵方巻きの作り方を教える部員

本町・南支部

ふるさと料理教室

本町・南支部は「ふるさと料理教室」を開いた。本町支部は9日にすえひろこども園の園児の親に「おやき」を、南支部は10日に南が丘中学校の生徒に「そば打ち」を指導した。部員は昔から地元で食べられていたことを説明し、手本を見せながら生地のこね方などを伝授。地場産の食材を使用し、地産地消も促した。

参加者は「家族と一緒に作りたい」「優しく教えてもらえて分かりやすかった」と話した。

指導を受けながらそば切りをする生徒

大根・南・西・上支部

シイタケほだ木作り

大根・南・西・上支部は13～16日の間に、各支所でシイタケのほだ木作りをした。

部員は長さ約1㍍の原木に電動ドリルを使って穴を開け、木づちでシイタケ菌を打ち込んだ。ほだ木は各自で持ち帰り、雨水が当たる場所で温度や湿度を調整しながら管理。早ければ1年～1年半で収穫できる予定だ。

参加した部員からは「原木から栽培すると肉厚で香り高いシイタケが収穫できる。育てることと食べることの両方が楽しめる」と話した。

ドリルで原木に穴を開ける部員

告知板

くみあい利用券は3月31日まで

ＪＡはだのが発行している2016年度「くみあい利用券」の有効期限は、3月31日（金）までです。昨年の3月1日から定期貯金・定期積金を契約された方は、証書ケースの中に入ったままになっていることもあります。

お手持ちの利用券をお確かめの上、お早めにご利用ください。

ＡＴＭ休止のお知らせ

このたびＪＡバンクの全国統一電算システムの更改に伴い、誠に勝手ながら3月18日（土）はＡＴＭ・ＪＡネットバンクなどのサービスを一時休止させていただきます。

詳細につきましては、ＪＡバンク神奈川ホームページなどをご確認ください。ご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

お問い合わせは信用課まで。☎81－7716

ホームヘルパー募集

ＪＡはだのケアセンターでは、ホームヘルパーを募集しています。年齢不問。働きやすい職場ですので、お気軽にお電話ください。

◎業務内容　訪問介護
◎資格　訪問介護員2級養成研修課程修了者、要普通免許
◎時給　1200円（土日祝の加給有り）
※採用3カ月までは時給1000円
◎時間　午前8時～午後6時
※時間・勤務日は応相談
◎待遇　制服貸与、交通費規定支給

お問い合わせはＪＡはだのケアセンターまで。☎83－7210

共済保障見直し休日相談会

ひと・いえ・くるまの保障についての無料相談会を開きます。個別にご相談をお受けいたしますので、お気軽にご来所ください。

◎日時　3月5日(日)午前9時から午後4時まで
◎場所　南支所

ご予約・お問い合わせは南支所まで。☎81－0268

建物更生共済ご加入のみなさまへ

建物修理に関する業者とのトラブルが増えております。ＪＡ共済で指定している修理業者はなく、「共済金が使える」と言って建物修理の勧誘を受けたときには、修理契約を締結する前に十分にご注意ください。

お問い合わせは共済課まで。☎81－7715

組合員へのお知らせ

当ＪＡの監事会は、経営の健全な発展に資するため、当ＪＡ監事監査規程（第7条）に基づき、「理事の職務執行に関する情報（組合経営に関する事象に限る）などの提供窓口」を設置しています。左記受付窓口までお申し出ください。

総合リスク管理課　☎81－7712

マル武人形展の終了について

定期的に本所で開催していたマル武人形展ですが、諸般の事情により昨年度で終了となりました。

これまでに購入いただいた人形の修理については、全農かながわが対応いたします。

お問い合わせは経済課まで。☎81－7717

２０１７年度年金相談会日程

年金の受給手続きに関する相談会を開きます。参加費は無料ですので、お気軽にご相談ください。信用課または開催する各支所・支店まで事前予約をするとお待たせしません。時間は午前9時から午後4時まで。

お問い合わせは信用課まで。☎81－7716

日時	場所
3月12日（日）	本所農業団地センター
4月23日（日）	本所農業団地センター
5月28日（日）	本所農業団地センター
6月14日（水）	南支所
6月15日（木）	北支所
6月18日（日）	本所農業団地センター
7月19日（水）	東支所
7月23日（日）	本所農業団地センター
8月15日（火）	上支所
8月16日（水）	大根支所
9月6日（水）	鶴巻支店
9月24日（日）	本所農業団地センター
10月6日（金）	秦野駅前支店
10月22日（日）	本所農業団地センター
11月7日（火）	西支所
11月10日（金）	本町支所
12月17日（日）	本所農業団地センター
1月28日（日）	本所農業団地センター
2月18日（日）	本所農業団地センター

あの人このん

自慢の梅干しが優等賞に輝く

小蓑毛の松下設子さん

小蓑毛の松下設子さんは、小田原市が開催する平成28年度小田原梅品評会の「ファーマーズマーケットの部」に出品し、優等賞の「全国農業協同組合連合会神奈川県本部運営委員会会長賞」に輝いた。県内ファーマーズマーケットの出荷者を対象としたもので、松下さんは3年連続の受賞となった。

松下さんは「一つ一つの作業を丁寧に行うことを心掛けている。入賞することは生産意欲につながるのでうれしい」と話した。

書道で文部科学大臣賞

鈴張町の長澤和泉ちゃん

鈴張町の長澤和泉ちゃん（南小学校1年）は、ＪＡ共済連が主催する全国書道コンクールで見事、文部科学大臣賞に輝いた。県内で受賞したのは約30年ぶりで、前回の受賞者は母・智子さん。智子さんは「まさか同じ賞を娘が受賞するとは思わなかった」と驚いていた。

和泉ちゃんは「とてもうれしかったので、来年も応募してさらに上の賞を目指したい」と笑顔で話した。

じばさんず NEWS

【３月のイベント】

☆「マルシェ祭り」４日(土)
青年部員がホウレンソウ、カブ、ブロッコリー、ヤーコン、ニンジン、サトイモ、大豆などを対面販売する他、地場産野菜をふんだんに使った野菜スープを無料配布します。併せて、じばさんずは「神戸牛コロッケ」「メンチカツ」「イモ天」の販売をします。

☆「果物フェア」５、12日の日曜日
秦野産イチゴやかんきつ類を販売します。

☆「国産加工豚の日」11、18日の土曜日
豚肉の生産・加工・販売などを手掛ける㈱フリーデンが、国産豚肉の試食販売をします。

☆「おすすめ品」11日(土)、12日(日)
おすすめの乾物を試食販売します。

☆「農村レストラン弁当」14日(火)
秦野産の旬の農産物を使った農家手作りの弁当です。※数量限定商品です。

☆「お茶フェア」18日(土)、19日(日)
花粉に効果があるとされる秦野産「べにふうき」を試飲販売します。

☆「農家手作り加工品」18日(土)、19日（日）、20日（月）
農家が手作りしたさまざまな加工品をご用意します。

☆「お楽しみ詰め放題」25日(土)、26日(日)
野菜や果物の詰め放題をします。お楽しみに！

☆「ダブルチャンス」29日（水）
店頭価格から、米が10％引き、肉が５％引きになります。

☆「試食の日」毎週火曜日
生産者が出荷している旬の野菜の紹介・レシピを紹介します。

☆「お米の日」毎週水曜日
店頭価格から10％引き。

☆「お肉の日」毎週木曜日
店頭価格から５％引き。

☆「たまごの日」毎週金曜日
店頭価格から10％引き。
※「みくるべたまご」を除く

※準備の都合上、イベント内容に変更があることがあります。ご了承願います。

今月の生産者

平沢の山口（やまぐち）洋子（ひろこ）さん

出荷品目　桃の花やミカン、ホウレンソウなど１年を通して10品目以上を出荷

桃の花は３月の「桃の節句」に欠かせない花。子どもたちの健やかな成長を祈り、開花を調整しながら大切に育ててきました。「日持ちが良い」と買っていただいた方からも好評です。他にも、１年を通して多品目を出荷していますので、見掛けた際にはぜひ手に取ってみてください。

住宅ローン 年金受給手続 休日相談会
●マイホームの新築・購入から、リフォーム・借り換えまで、資金のご相談を承っております。
●これから年金を受け取る皆さまの複雑な受給手続きのお手伝いをさせていただきます。
日時 3月12日(日)
会場 JAはだの本所 農業団地センター
ご来場の方に記念品を進呈
※時間は午前9時～午後4時まで どなたでもご相談いただけますので、お気軽にご来場ください。
それぞれ事前予約をされると便利です。
◆住宅ローンを相談される方は 融資課 に
◆年金受給手続きを相談される方は 信用課 に
JAはだの本所
秦野市平沢477
■融資課 ☎81-7713 当日は 0120-954-093
■信用課 ☎81-7716 当日は 0120-954-092

自慢の花 展覧会で高評価

県内有数の花の産地である秦野市の花き農家は、常に品質向上に取り組み、花持ちが良く色鮮やかな花を生産している。丹精して育てた花は、多くの展覧会や品評会で高い評価を受けている。

花持ち良く色鮮やか

出品する花を仕立てる部会員

丹精の成果 入賞相次ぐ

第66回関東東海花の展覧会

日本最大級の花の祭典「第66回関東東海花の展覧会」が3日、東京・池袋のサンシャインシティ文化会館で開かれた。関東東海地域の1都11県の生産者が出品する展覧会で、花き部会からは出品した13点中、1点が入賞した。

1日には、部会員が会場へ花を搬入し、審査規格を確認しながら見栄え良く仕立て上げて展示した。

審査の結果は次の通り。

◎一般鉢物の部▽銅賞＝高橋洋平（大秦町）

第39回神奈川県花き展覧会

10日には、横浜市の横浜産貿ホールで第39回神奈川県花き展覧会が開かれた。花き部会からは32点を出品。見事、金賞3点、銀賞5点、銅賞4点を受賞した。

審査の結果は次の通り。

◎バラの部▽金賞1席＝谷茂（千村）▽銀賞1席＝石田勝博（曽屋）▽銀賞＝鈴野淳史（上大槻）▽銅賞＝石井秀人（下大槻）

◎一般切花の部▽金賞1席・銀賞＝小島実（上大槻）

◎枝物の部▽銅賞＝青木剛一（平沢）

◎鉢物の部▽金賞2席、銀賞2点、銅賞＝高橋洋平（大秦町）

◎シクラメンの部▽銅賞＝㈲はら園芸（菩提）

加藤政市部会長は「最高の賞を受賞できたことは、部会員全員の喜び。今後も、素晴らしい技術を共有し、秦野の花のレベル向上に努めたい」と笑顔で話した。

受賞おめでとう！
日頃の成果を発揮

果樹部会柑橘部は1月30日、本所選果場で果実品評会を開いた。審査の結果は次の通り。

◇大津四号の部◎優秀賞＝志村博（南矢名）尾澤健一（南矢名）◎優良賞＝平井修二（北矢名）諸星進一（渋沢）中村誠治（曽屋）

◇青島温州の部◎優秀賞＝尾澤健一（南矢名）平井修二（北矢名）◎優良賞＝中村誠治（曽屋）遠藤金治（曽屋）小澤喜一（南矢名）

接ぎ木技術学ぶ
キウイフルーツ部が講習会

松下顧問から腹接ぎの方法を学ぶ部員

キウイフルーツ部は7日、戸川の園で接ぎ木をテーマにした講習会を初めて開いた。効果的な樹木の更新方法を身に付けることで、部全体でさらなる品質と収量の向上につなげる考え。部員12人が参加し、実践的に作業方法を学んだ。

JA営農課の松下一興園芸技術顧問と部員の尾澤英太郎さんを講師に「切り接ぎ」と「腹接ぎ」の方法を学習。部員が持ち寄った剪定（せんてい）枝を活用し、ナイフを使って穂木の作り方を学んだ。

腹接ぎした際のテープの巻き方など、実践しながら接ぎ木の技術を身に付けた。

石原隆男副部長は「接ぎ木は生産拡大に向けて重要な技術。学んだことを生かし、部員同士連携して高品質なキウイフルーツを生産していきたい」と意欲を燃やしている。

農機展示予約会にぎわう
推奨型式コーナーも

JAグループ神奈川と農機指導員協議会は3、4の両日、平塚市田村の全農かながわで農業機械展示予約会を開いた。県内から多くの組合員らが来場し、農機を品定めした。

会場には、さまざまなメーカーのトラクターやコンバインといった大型機械の他、家庭菜園に人気の小型農機などがずらりと並んだ。JAはだのの組合員も、スタッフの説明を受けながら機械の性能や特徴を確認していた。

会場入り口には、JAグループが生産資材価格低減策の一環として取りそろえている「JAグループ神奈川推奨型式」の紹介コーナーを設置した。並んだ農機は、JA全農かながわがメーカーなどと連携し、通常価格より5～15％程度値引きしているトラクターや刈払機など。推奨型式の農機はJAはだのの農機センターで販売している。問い合わせは、同センターまで。☎81―8394

農機の性能について説明を受ける組合員

JAグループ神奈川 推奨型式
生産コスト低減に向けた取り組みコーナー
「JAグループ神奈川推奨型式」の紹介コーナー

営農技術 ヒント・ポイント

農業技術センター 0463-58-0333
普及指導部――果樹花き課 果樹（伊藤）
野菜課（江口）
作物加工課 作物（辻本）
協力
農業技術センター足柄地区事務所 0465-83-5111
普及指導課――花き（勝間田）

豆類

落花生の播種にあたって

1. 栽培土壌について

落花生は干ばつに強い一方で、湿害には弱いため、排水が良い圃場（ほじょう）を選びましょう。土壌の最適な水素イオン指数（pH）は5～6程度のため、石灰資材を施用し調整しましょう。堆肥を施用する場合は、播種（はしゅ）の1カ月前までに行ってください。未熟堆肥などの有機物はコガネムシ類の被害を増加させるので、牛ふんなどの完熟した堆肥を施用してください。

2. 病害虫防除について

コガネムシの幼虫予防として、播種前に薬剤を土壌混和するか、播溝に施用しましょう。白絹病やキタネコブセンチュウなどは連作により発生するので、圃場を替えるか、麦類・陸稲・野菜（トウモロコシ、サツマイモ、サトイモ、キャベツ、ダイコンなど）と輪作をしてください。

3. 施肥について

初期生育には窒素成分が必要となりますので、土壌診断に基づいて元肥を施用してください。土壌のカルシウム成分が少ないと空莢（さや）が増えますので、播種前には必ず石灰資材を施用してください。

4. 種子の準備など

2～3月に殻をむいて種子を用意しましょう。種子用の莢は網目が明確で完熟した2粒莢で、若干黄色を帯びて白く、適度な「くびれ」があるものが適しています。莢をむいたら6ミリ目のふるいを通し、種皮が赤みがかっていて光沢が良いものを選びましょう。種皮（渋皮）がむけたものがありますが、病気にかかりやすいので取り除きましょう。

5. 播種

播種は、5月中旬から開始します。10アール当たりの播種量は、むき実4～5キロです。栽植密度は畝幅60センチ、株間25センチで、マルチ栽培の場合は、ベッド幅75センチ、株間24センチを基準とします。播種の深さは、3～4センチとします。鳥害対策として、種子塗布用の忌避剤や不織布をべたがけすると良いでしょう。

（辻本）

野良からこんにちは

松木君江さん（下大槻）
ブロッコリーが大きくなってきたので食べるのが楽しみです。

祢占民子さん（西田原）
ジャガイモを植え付ける準備をしています。

文芸の窓

〈俳句〉（酒井 敏光 選）

山眠る湖底みなものひかり溜め　酒井 紗恵（桜町）

評　山の湖であろうか。頂は雪のままに残り、湖面に注ぐ光の温みの一切を深みに溜めているという母心のようなものが感じられて、ほっこりする句である

図書室の本匂い立つ春日向　柴崎 和子（渋沢）

評　春ともなれば向上心のある人に真先に本棚の本が匂い立つのではなかろうか

早春の音のうまるる雑木山　高橋 順子（大秦町）
負うた子の背ナ頼もしく進学す　柳川みち子（栄町）
禅僧の一喝ひびき春隣　佐藤英美子（南矢名）
冬ざれのくずれ軒より落ち雀　森高 由子（渋沢）
日向ぼこ影ふとり出す正午かな　高島美和子（名古木）
春隣星座をあるく夜のウオーク　吉田 清美（渋沢）
成人式祝辞を胸に羽搏けり　芦川 松江（八沢）
先駆けの夫にほんのり梅の花　石原 松枝（渋沢）
煌きらと波のさゆらぎ春隣　選者

〈短歌〉（久保寺 富男 選）

暖色に千村台団地染め上げし
冬日ようやく我が家を照らす　細田 富士（千村）

評　情景がよくわかる。また、作者の住んでいる位置と対象の千村台団地の相対的な様子も目に見える。

ぼんやりと日向ぼこする傍へには
語る人亡く老猫よりくる　今井 かめ（羽根）

評　老いて孤独、脱力感とわびしさが伝わってきます。切ない。

ついに出た新横綱の晴れ姿
おもわず涙の家族に乾杯　久保田 浩（寺山）

間隔を保ちて立てる駅ホーム
合間を縫いて寒風過ぎる　八木 実（鶴巻北）

先輩のミスを認めるすべもなく
是正すらなきヤカラ住む街　峰 孝子（千村）

春立ちぬ塚の榎の枝かいゆ
洩りくる夕陽のかそかやわらぐ　選者

結婚相談日
3月10日（金）
時間　午前9時～正午
場所　JAはだの本所
農業団地センター1階
お問い合わせ
組織教育課☎81－7714

税務相談日　3月10日（金）午前9時30分～
法務相談日　3月21日（火）午後1時30分～
場所　JAはだの本所2階
組織教育課
☎81－7714
・予約制となっていますので、事前にお電話にてご予約をお願いします。
・受け付け順に相談時間が決まります。

今月の理事会

2月21日に理事会を開催し、次のことを審議しました。

▽2017年度事業計画（案）について
▽2017年度内部監査計画について
▽2017年度コンプライアンス・プログラムについて
▽苦情等処理対応要領の改正について
▽2016年度決算方針（案）について
▽固定資産減損会計の「資産グループの変更」について
▽第54回通常総会における表彰・感謝状の内申基準について
▽定款及び定款附属書役員選任規程、規約の変更について
▽土地の取得について
▽本町支所新事務所等の建設について
▽2016年度期末賞与の支給について
▽2017年度余裕金運用方針について
▽2017年度借入金の最高限度額の設定について
▽高額貸出金の借入申し込みについて

ハンドベルで奉仕活動
「ララ・トゥインクル」

楽しいよ デイサービス

JAデイサービスセンターはだののイベントやボランティア活動を紹介します。

◇

「ララ・トゥインクル」は、天使のハーモニーと言われているハンドベルの音色に魅せられた7人で結成しました。地域の皆さまに喜んでもらえるような活動を目指し、ボランティア活動に励んでいます。介護施設を中心に、小学校や幼稚園、公民館などでのイベントで演奏しています。

演奏を聴いていただくだけではなく、音楽療法の観点から、ベルの伴奏に合わせて合唱してもらい「大きな声で元気良く」と促しています。利用者の方々の楽しそうな様子に励まされながら、今後も活動していきたいです。

◇

お問い合わせは、JAはだののデイサービスセンターはだのまで。☎85―5177

秦野の農家ご飯
揚げない肉団子のあんかけ

東支部清水第三生活班　合田久美子

■材料（4人分）■

肉団子（豚ひき肉300グラム、長ネギのみじん切り適量、塩小さじ1、こしょう少々、ショウガ汁小さじ1、ごま油少々、片栗粉大さじ1）、水350cc、酒大さじ1、塩小さじ2、しょうゆ大さじ1と1／2、片栗粉中さじ1、付け合わせ（エリンギやエノキタケなどのキノコ類、ハクサイやホウレンソウなどの旬の野菜、ミニトマトお好みで）適量

＜作り方＞

①鍋に水を入れて沸騰させ、酒と塩を入れる。
②肉団子の材料全てをよく混ぜ合わせ、直径3センチほどの団子状にする。
③②を①に入れ、肉団子が上がってきたらキノコ類と野菜を入れ、しょうゆを加える。
④片栗粉を入れてとろみが付いたら器に盛る。半分に切ったミニトマトを添えて完成。

＜ひとことアドバイス＞

油で揚げていないので、さっぱりしていてヘルシーです。とろみが付いていて体が温まるので寒い冬にぴったりの料理です。旬の野菜を使ってお楽しみください。

職員人事

2月1日付で職員人事異動を行いました。かっこ内は旧部署。

◎異動
▽加藤英明＝企画管理部付神奈川県信用農業協同組合連合会出向（西支所）

3月4～13日まで

除草剤割引キャンペーン
JAグリーンは頑張る農家応援

JAグリーンはだのは3月4～13日まで、ラウンドアップやプリグロックスなどの除草剤の割引キャンペーンを実施します。さらに、散布時に着用するマスクなども割引しますので、お得なこの機会にぜひご購入ください。

お問い合わせはJAグリーンはだのまで。☎81―7719

家の光 今月の新刊

症状と原因が写真でわかる
野菜の病害虫ハンドブック
草間祐輔 著

家庭菜園につきものの病害虫の被害。原因を正確につきとめるために100以上の症例を写真で大きく掲載。原因と対策がよく分かる。薬を使う防除法と使わない防除法も併せて解説。

定価1620円（税込み）

働くあなたの応援団！
JAバンク 2017
スプリングキャンペーン
キャンペーン実施期間
2017年2月1日(水)～5月31日(水)
給与振込口座を新たにご指定いただくと応募者全員に
松下奈緒 QUOカード 5,000円分プレゼント！
JAカード【一体型】に新規ご入会いただいた方にもれなく
ニコス ギフトカード 1,000円分プレゼント！
※JAカード［一体型］とは、JAのキャッシュカードとクレジットカードが一体となった便利なカードです。

JA正職員を募集

1. 応募資格　大学・短大を2018年3月卒業予定者で市内および隣接市町に在住の方
2. 募集人員　若干名
3. 職種　JA業務全般
4. 応募受付期間　3月1日(水)～4月28日(金)
5. 応募方法　下記ホームページの採用情報欄をご覧ください
6. お問い合わせ先　〒257-0015 秦野市平沢477番地
秦野市農業協同組合 企画管理部 総務課
☎0463-81-7711（平日午前8時30分～午後5時）

■ホームページアドレス　http://ja-hadano.or.jp/